



よこて

市報

No.26

2006年11月1日号

11-1

秋晴れの下の大行進

絶好の天気の下、朝倉小学校スクールバンドの皆さんによる軽やかなリズムにって市街地を行進する仮装行列隊（関連記事6ページ）。

目次 Contents

行政情報

- 横手まるごとフェスティバル
- 国体リハーサル大会ほか

2

地域の話題

- ニュース東西南北

6

くらしの情報

9

えがおの交差点

10

情報information

- お知らせ
- いどばたブラザ

12

ぶらり横手

- ゆっぶる(平鹿)

16



深井地区、南形地区が合同で披露した鹿嶋送り（雄物川）



司会の高橋航さんとモーリーズリップスも参加した百万遍念仏講（山内）



大勢の観客が会場を埋め尽くした



横手の芸能・物産が大集合

横手市誕生1周年を記念する「横手まるごとフェスティバル」が10月21日・22日の両日、秋田ふるさと村で開催されました。

天候にも恵まれた2日間、屋外に設けられた特設ステージでは、市内の郷土芸能のほか、横手市の友好交流都市の芸能などが次々と披露され、訪れた市民、観光客の皆さんを圧倒。来場者からは「横手市の底力を見た」などといった感想が聞かれました。

また、即席で結成された「どさくさ歌劇団」によるどさくさオペラ「喜劇 山と川のあるまち」は、迫真の

演技と絶妙な秋田弁で観客の笑いを誘っていました。

会場ではこのほか、市内の特産品などを販売する「大物産市」や、ラーメン、焼きそば、いものこ汁などが味わえる「おいしい屋台村」も開設され、1万5千人の来場者の皆さんは横手の魅力をまるごと満喫しました。



各地域の伝統太鼓、創作太鼓も勢揃い(写真・大雄太鼓)

1万5千人を魅了

「まるごと横手ウルトラクイズ」正解発表

会場内に設置されたクイズにお答えいただき、全問正解された方の中から抽選で20名様に横手市の特産品がプレゼントされます。

Q1：冬の伝統行事として有名な「横手のかまくら」は、1個の高さが約3.5m、幅が約4.0m、使用されている雪の量は10³である。

答え：×（20トン使用されている）

Q2：田植え後の日曜日、大雄藤巻集落では「無病息災」の祈りを込め厄神立て（鹿嶋大明神のわら人形製作）が行われ、完成後は厄神様を一人ずつ交替で背負い、集落の境へ設置する。さてこの厄神様、重さが100kg以上もある。

答え：○

Q3：雄物川町宗念寺には、元巨人軍の300勝投手ヴィクトル・スタルヒンの墓があるが、その墓は野球ボールの形をしている。

答え：○

Q4：JR北上線は、大正13年の横手～北上間が、横黒線として全線開通し今に至っているが、現在山内地域内には、駅が4つある。

答え：×（矢美津・相野々・平石・小松川・黒沢の5駅）

Q5：りんごの品種「やたか」は、増田の人が発見し、登録した品種である。

答え：○

Q6：皆様にお願いいただき、今年で20年となった「大森ワイン」。現在販売されているのは、白ワイン（甘口・辛口）、スパークリングワインだが、以前は赤ワインも販売されていた。

答え：×

Q7：平鹿町浅舞地区で毎年開催されている「榎の木光のファンタジー」の榎の木は、樹齢500年以上の生のケヤキの木に電飾を施していますが、その榎の木から降り注ぐ光のシャワー（電球の線）は10本である。

答え：×（12本）

Q8：十文字志摩地区の白鳥飛来地には、毎年300羽近く白鳥が飛来するが、昭和51年に初めて白鳥が飛来したときの数は13羽である。

答え：○

Q9：横手市の総面積は東京都（23区）の合計面積より大きい。

答え：○

Q10：来年開催される「秋田わか杉国体」で横手市を会場として行われる競技は、ボウリング・ホッケー・軟式野球・バレーボールの4競技である。

答え：○

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



横手市と三国同種協定を結ぶ富士宮やきそば、太田焼きそばを求めて長い行列



大物産市も大好評。昔懐かしい「どん」も登場



重厚かつ軽妙な雰囲気thatたよう相模里神楽（厚木市）



観客の目の前で力強く披露された三所神社梵天（増田）



観客の笑いと涙を誘った「どさくさオペラ」



子どもたちも興味津々の門部ひよっこ踊り（那珂市）



勇壮な三銘鬼剣舞（北上市）



本番を前に高まる熱気！ 国体ホッケー競技リハーサル大会



緊迫のシュートシーン



ボールサーバーやグラウンド補修などに中学生スタッフも大活躍



十文字中学校体育館で行われたホッケー教室

2006年度全日本社会人ホッケー選手権大会が、10月21日から25日にかけて、十文字陸上競技場および羽後町多目的運動広場を会場に行われました。この大会は、来年開催される秋田わか杉国体ホッケー競技のリハーサル大会として行われたもので、全国の地区予選等を勝ち抜いてきたチームによる、国内トップクラスの白熱した試合が繰り広げられました。試合の結果、男子は名古屋フラーテルホッケーチーム（愛知県）が、女子はソニー一宮（岐阜県）が見事優勝を果たしています。

また、大会初日には、わくわくホッケー教室が開催され、地元の小中学生など約30人がソニー一宮の選手の皆さんの指導を受けました。参加者の中には、学校の選択授業で国体に向けてホッケーを経験している児童生徒も多く、一流選手のプレーに目を輝かせながら、スティックさばきやボールの扱いなどを基礎から学んでいました。

第41代 ミスりんご3人が決定

10月8日、恒例となったミスりんごコンテストが増田地域で開催され、第41代ミスりんご3人が選ばれました。当日は悪天候のため、急きょ会場を真人公園から増田ふれあいプラザに移して行われました。ミスりんごコンテストには、市内外から19人が参加。健康的で明るいりんごのような容姿・態度を基準に審査が行われました。その結果、土田聖子さん（21歳・雄物川）、伊藤綾子さん（24歳・横手）、高橋美穂さん（22歳・増田）の3人がミスりんごに選ばれました。3人は来年1月からの1年間、横手市のキャンペーンガールとして、市の観光や物産等の宣伝活動で活躍することになっています。



左から、土田聖子さん、伊藤綾子さん、高橋美穂さん

観光

観光カリスマが講演しアドバイス
横手市観光連盟が設立される

市内各地域の観光協会などが発起人となって準備を進めてきた横手市観光連盟の設立総会が10月13日に開催されました。新連盟は、「各地区観光協会の実質的統合を視野に入れながら、関係する団体や企業との連携を図り、観光振興策を強化する」としており、会長には横手商工会議所会頭の岩佐佳政さんが選出されました。

総会後には、観光カリスマとして知られる船木上次さんが記念講演を行い、「観光政策には、市民が自信を持って薦めることができ、かつ市外の人が横手市と聞いただけで思い浮かべるような主役が必要。地域のバランスに配慮してばかりでは中途半端になる。新連盟には、印象に残るようなインパクトのある戦略を期待したい」と述べました。



講演する船木上次さん

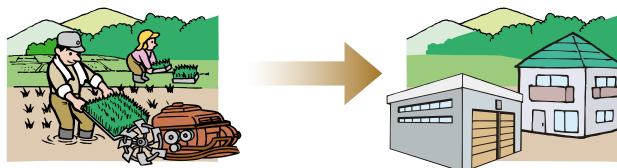
農業

農地転用予定の方へ
19年度予定の方は12月中に申請を

農用地区域内にある田、畑を宅地などに用途変更するためには、農用地からの除外手続きが必要です。市では、合併に伴う新たな農業振興地域整備計画を平成19年度中に策定することとしており、これによって農用地区域等が設定されますが、平成19年度に転用を予定されている方については、合併前の各市町村の計画等に基づいて申請を受け付けます。転用を希望される場合は、お忘れのないよう手続きください。

【届け出が必要な場合】

- 農地を農地以外（宅地、駐車場等）に転用する場合
- 農地に農業用施設等（農機具庫、農作業小屋、畜舎等）を建設する場合



※次の要件をすべて満たしている必要があります

- ①他に代替すべき土地がないこと
- ②除外後にも一帯の農地の集団性が保たれること
- ③周辺農地に与える影響が軽微であること
- ④原則として土地改良等の公共投資後8年以上が経過していること
- ⑤諸法令による計画実現性があること

- 受付期間 12月1日（金）～27日（水）
- 受付場所 各地域局産業振興課（申請書類は各地域局産業振興課に用意してあります）
- 問合せ 市産業経済部農政課（増田庁舎内） ☎45-5522

国際交流

秋の収穫体験ツアー2006

10月7日から9日までの3日間、千葉県浦安市にある明海大学に通う留学生10人が横手市を訪れ、市内の家庭にホームステイしながら、りんごやぶどう、いものこなどの収穫を体験しました。



もぎたてのりんごに大喜び

これまで、横手地域と山内地域において実施してきたこの取り組みを今回初めて市内全域に拡大。留学生を受け入れてくださるホストファミリーを募集したところ、新たに十文字地域の2世帯、雄物川地域の1世帯か

ら申し込みがありました。来年2月には、雪国の文化を体験するツアーが開催されます。気軽な国際交流体験に皆さんもぜひご参加ください。

福祉

精神障害者保健福祉手帳が変更されました
手帳に顔写真が貼付されます

精神障害者保健福祉手帳は、10月1日以降の申請受付分からご本人の写真貼付した様式に変更になりました。手続の際に写真を提出していただく必要がありますのでご注意ください。

■申請時に必要な書類

①障害者手帳申請書

②次の書類のいずれかの写し

診断書（精神障害者保健福祉手帳用）、障害年金の年金証書、年金確定通知書および直近の年金振込通知書、年金支払通知書、特別障害給付金需給資格者証および直近の国庫金振込通知書

③写真1枚（縦4cm×横3cm、カラー・白黒を問わない、脱帽し上半身を写したものの、手帳申請時から1年以内に写したもの）

※9月30日以前に申請された方については、旧様式の手帳を交付します。改めて写真を提出する必要はありません。

■問合せ 市福祉環境部社会福祉課障害福祉担当（大森庁舎内） ☎26-2112

議会

議会を傍聴してみませんか

横手市議会11月臨時会開催のお知らせ

傍聴を希望される方は、横手庁舎7階の傍聴席に直接お越しください。なお、団体での傍聴の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。

- 日 時 11月14日（火）【開会、本会議（認定上程等）】
- 時 間 午前10時から
- 場 所 横手庁舎6階議場（傍聴席は7階）
- 問合せ 市議会事務局（横手庁舎内） ☎32-2535

秋晴れの中マラソンを楽しむ

■S & B杯ちびっ子健康マラソン大会(大森)

10月14日、大森リゾート村周辺を会場に、県南地区の有力スーパーが主催する第20回S & B杯ちびっ子マラソン大会が行われ、県内各地の小学生411人が参加しました。大会は、マラソンを通じて子どもたちの健康増進を図ろうと毎年開催されているもので、記録だけではなく最後まで走りぬくことを目標にしています。競技は、1・2年生1.5km、3・4年生2km、5・6年生3kmで行われ、気持ちのいい秋晴れの中、参加した子どもたちは、家族の声援を受け懸命に走っていました。



家族の声援を受け一斉にスタート



餅まきならぬ、麺まきに賑わう来場者

地域の魅力を満載

■十文字地域産業文化祭・芸術文化祭(十文字)

10月15日、十文字文化センター・十字の里を主会場に「十文字地域産業文化祭」が開催されました。晴天の中、会場には農産物や加工品、特産品の即売コーナーが立ち並び、最後に行われたラーメンの麺まきでは、待っていた来場者たちで会場内は大いに賑わいました。また、合わせて15日と16日の両日に開催された芸術文化祭では、地域で活動している19団体が日頃の練習成果を披露。唄や踊り、民俗芸能など多彩な発表が行われ、観客からは盛んな拍手が送られていました。



森林に囲まれた大松川ダム公園で開催された記念講話

源流の森の大切さを再確認

■水と樹木のシンポジウム2006(横手)

10月21日、水と樹木のシンポジウムが山内地域を会場に開催されました。横手川流域の関係者からなる「横手川と水環境を考える会」が中心となり開催しているこの取り組みは今年で9回目。大松川ダム公園で行われた第1部では、平鹿中学校教頭で森林インストラクターの酒井浩先生による講話や記念植樹が、横手市森林組合に会場を移しての第2部では、山内地域産の新そばの試食や小中学生による研究パネル発表などが行われ、自然の大切さを改めて確認し合いました。



「バイブライン競争」に真剣に取り組む参加者たち

熱戦を披露

■大雄地区スポーツレクリエーション(大雄)

10月8日、大雄中学校にて「2006大雄地区スポーツレクリエーション」が開催されました。この日は雨天のため、予定していた会場を変更して行われたもので、待ちかねていた参加者たちが会場内を埋め尽くしていました。昨年までは、大雄保育園との合同運動会として行われていたこの催し。今年からは単独での開催となりましたが、応援に園児たちも訪れ、会場を沸かせました。競技では、地区を代表する幅広い年齢層の参加者たちが熱戦を繰り広げ、会場内には熱気がみなぎっていました。



色鮮やかな衣装で沿道の観客にアピール

大きく育て、自然と共に

■あした(未来)の森記念植樹(増田)

10月15日、「あした(未来)の森」創造事業の記念植樹が真人山の旧増田高等学校樹園地で行われ、平成17年度に出生した親子など103人が参加しました。この事業は、平成12年度に創設された事業で、子育て支援と市民が自然に親しめる環境づくりを目的に行われているもの。今回の植樹の対象者は、平成17年度に増田地域で出生した49人の子どもたち。参加した親子らは、子どもたちの健やかな成長を願いながら、50本の「オオヤマザクラ」を植樹しました。



健やかな成長を願い植樹しました



オープニングを飾った吉田小学校スクールバンド

商店街と地元産業をPR

■第5回きてたんシェひらかまつり(平鹿)

10月14日と15日の2日間、平鹿生涯学習センター駐車場を会場に第5回きてたんシェひらかまつりが行われました。これは、地元事業者の元気づくりと、平鹿地域産業全体の振興を目的に平鹿中央商工会が開催したもので、15日の本祭では、吉田小学校スクールバンドのマーチングや、平鹿地域5保育園の年長児による歌などが披露されました。また、会場内には地元商店などが店を出し、同商工会で試作中の全国発信鍋汁の試食会なども行われ、訪れた家族連れなどまでにぎわいをみせていました。

マツタケ目指し力走

■第19回まつたけマラソン大会(雄物川)

10月9日、雄物川地域局をスタート・ゴールに、第19回まつたけマラソン大会が行われ、友好都市である厚木市から参加した3人を含む741人が健脚を競いました。入賞者には特産のマツタケが贈られる同大会。競技は、年齢別・男女別・距離別の14部門で競われ、各部門の上位6位までに賞品としてマツタケが贈られたほか、参加者全員にマツタケご飯が振る舞われました。参加した選手たちは、沿道に詰めかけた人々からの盛んな声援を受け、懸命にゴールを目指していました。



ゴールを目指し、雄物川地域局前を一斉にスタート

市税等の納付忘れはありませんか？

税金

平成18年度も11月となり、残すところ5か月となりました。皆さんが納めなければならない市税等に納付忘れがないか、今一度ご確認ください。領収印が無い状態で保管されていませんか？未納はありませんか？そんな方は、速やかに納付してください。

なお、納付するときには必ず納付書が必要となります。納付書を紛失された方は、納税課または最寄りの地域局市民生活課税務担当（横手地域は納税課）までご連絡いただければ再発行します。また、会社の倒産やリストラ等により収入が激減したなどの理由で、期限内にどうしても納付困難な場合などの相談も受け付けています。

市税等の納付は、納期限が過ぎ、市から督促状が寄せられますと、督促手数料や延滞金が増加することになりますので、納期限内納付をお願いします。

詳しくは、本庁財務部納税課（☎32-2518）または各地域局市民生活課税務担当までお問い合わせください。

【連絡・相談先電話番号】

納税課	☎32-2518	増田	☎45-5513
平鹿	☎24-1113	雄物川	☎22-2156
大森	☎26-2115	十文字	☎42-5114
山内	☎53-2932	大雄	☎52-3904

国民健康保険高額療養費制度について

国保

国民健康保険では、同じ月内に医療機関に支払った自己負担額の合計が高額になった場合、申請して認められると、限度額を超えて支払った金額が支給される高額療養費の制度があります（入院時の食事代、差額ベッド料等は除きます）。

自己負担限度額は、70歳以上の方と70歳未満の方、所得の状況、過去の支給状況などで異なります。お届けしたチラシなどでご確認のうえ、該当すると思われる場合は地域局窓口で申請の手続きをしてください。

申請には、領収書、保険証、世帯主の印鑑、振込通帳（郵便局以外）が必要です。1回の支払い金額が少額でも家族の方との合算で該当する場合もありますので、領収書は大切に保管していただくとともに、所得税等の医療費控除に使用する前には、支給対象とならないかをもう一度ご確認ください。

支給時期は、受診月の2カ月後以降となります。医療費の確認書類が届くまで期間があるためです。通常、受診月の翌々月の10日頃までに申請のあったものについて月末に支給することとなっていますが、申請書の不備や医療費の確認ができない等の理由により支給が遅れる場合もありますのでご了承願います。

詳しくは、本庁福祉環境部国保年金課（☎35-2186）または各地域局市民生活課国保担当までお問い合わせください。

11月は児童虐待防止推進月間です

子育て

年々児童虐待の相談件数が増加し、虐待による児童の痛ましい死亡事例が依然として発生し続けている中、児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアに至るまでの総合的な対策が地域に根付き、効果的に実施されていくためには、援助に携わる人たちだけでなく幅広い皆さんの共通した理解が必要です。

このため、国では、児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域など社会全般に児童虐待問題に対する深い関心と理解を求めるための活動を実施します。

また、国民一人ひとりの意識啓発を促すために全国から標語を募集し、次の標語が選ばれました。

『あなたの「もしや？」が子どもを救う。』

「なにか変だぞ…」「もしや、虐待では…」と思われた時は、秋田県南児童相談所（☎32-0500）、本庁福祉環境部子育て支援課（☎26-2113）または地域局福祉担当まで一報ください。

地域に暮らす大切な子どもたちの健やかでたくましい成長を、地域ぐるみで守りましょう。



高齢者福祉サービスをご利用ください

福祉

高齢者世帯等の雪下ろし・雪寄せを支援します

次の要件の対象者を支援します。利用料がかかりますが、住民税非課税世帯等には市が一部を助成します。利用を希望する方は、11月20日（月）まで各地域局福祉保健課までお申し込みください。

- ①65歳以上の一人暮らし及び高齢者のみの世帯
- ②配偶者のいない女性と義務教育終了前の児童のみの世帯
- ③身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1～2級の方
- ④その他上記の条件に準ずる方

※昨年度の利用者には、直接ご案内通知を送付します。

寝具のクリーニングサービスを実施しています

65歳以上の一人暮らし高齢者等の掛布団・敷布団・毛布を預かり、洗濯・乾燥・消毒を行います。なお、1割の利用料がかかります。

理美容訪問サービスを実施しています

寝たきりの高齢者宅を理容師・美容師が訪問し、カット、洗髪等を行います。実費は利用者の負担となりますが、訪問のための出張料は市が負担します。

高齢者入浴券を支給しています

70歳以上の高齢者の方（平成18年4月1日現在）へ、市内の入浴施設で利用できる入浴券を支給しています。

詳しくは、本庁福祉環境部高齢ふれあい課高齢福祉担当（☎26-2114）または各地域局福祉保健課までお問い合わせください。



さわやかな笑顔で講演された長崎宏子さん

人との出会いがスポーツの魅力

■長崎宏子さん講演会（平鹿）

競泳選手としてオリンピックなどで活躍した秋田市出身の長崎宏子さんの講演会が10月22日、平鹿生涯学習センターで行われ、約250人が参加しました。

これは、平鹿町PTA連合会が主催して行われたもの。「スポーツは教育をサポートする」と題して行われた講演では、長崎さんが自らの体験談をもとに、「スポーツの最大の魅力は人との出会いやつながり。友達づくりは教育においても大切なもの」と力説。参加者は、長崎さんの講演にうなづきながら、熱心に聞き入っていました。

日頃の成果を披露

■第3回「唄と踊りの祭典」（大雄）

10月22日、大雄交流研修館ふれあいホールで第3回「唄と踊りの祭典」が開催されました。

この催しは、大雄芸術文化協会の主催によるもので、この日は44組の団体が日頃の練習成果を披露。それぞれの団体が唄や踊りなど、趣向を凝らしたステージ発表を行い、この日を待ちわびていた観客からは、地元ならではの暖かな声援や盛んな拍手が送られていました。また、大雄公民館では生涯学習作品展も開催されており、並んだ力作に足をとめて見入る来場者の姿も見受けられました。



懐かしいメロディーを大正琴で奏でる演奏者たち

日頃の運動不足を解消

■スポーツに親しむ日（十文字）

体育の日の10月9日、十文字地域ではこの日を「スポーツに親しむ日」として、ウォーキングとリラックスヨガの教室を開催しました。秋晴れの空の下、この日は40人近くの方が参加し、始めに堤防を7回ウォーキング。「普段は歩くことが少なく運動不足気味」と話す参加者たちもさわやかな汗を流していました。

この後、十文字文化センターの和室で行われたリラックスヨガでは、講師を迎えての呼吸法やポーズなどを学び、心と体をほぐす参加者たちの姿が見られました。



リラックスヨガで心と体をリフレッシュする参加者



霜月神楽（大森）
国指定重要無形民俗文化財「保呂羽山^{保呂羽}霜月神楽」は、保呂羽山波宇志^{保呂羽}社に伝わる貴重な神事で、1200年以上の歴史があり、純神道の湯立^{湯立}神楽として日本最古のものです。
毎年、霜月11月7日の夕方から8日の朝にかけ、神に今年の収穫を感謝し、来る年の五穀豊穡を祈って、三十三の神事が夜を徹して行われます。
霜月神楽は神楽の体系では、伊勢系の湯立神楽に属し、信濃や三河地方で行われている霜月祭・花祭りなどと呼応していると言われています。
また、神祭の形態は、近郷の神官が祭主の神殿に集まり神楽を行う寄合神楽で、その形態が明治初期に廃絶した伊勢の霜月の寄合神楽に酷似していることから、寄合神楽の形態を伝える貴重な神楽とされています。
◆日時 11月7日（火）午後7時～11月8日（水）午前6時
◆場所 波宇志別神社里宮神殿
◆問合せ 市教育委員会文化財保護課 ☎2413480

11月のイベント案内

共に歩んで
50年

(雄物川)

渡邊 康男さん(79歳)
フサ子さん(73歳)



康男さんは、満洲の生まれ。18歳まで中国で暮らし、終戦の半月前に入隊したことから昭和20年に帰国となりました。

「日本に帰ってきてても知り合いもいなく、生活するのが本当に大変だったよ」と当時を振り返る康男さん。その後は農業を営む叔母の家で仕事を手伝い、29歳の時に遠縁だったフサ子さんと結婚しました。

結婚後は、夫婦で農業にたずさわり、康男さんが35歳から雄物川町役場に勤務するようになってからは、フサ子さんが主婦としてその生活を支えました。

冗談を言い合い、明るい笑い声の絶えない渡邊さんご夫婦。

「60歳過ぎてから元氣！」と話すように、退職後の康男さんは社交ダンスの同好会で練習に励む日々。一方、フサ子さんは大好きな民謡を学び、老人ホームを慰問してその美声を披露しています。

「何事にも前向きに」がモットーと、波乱の青春時代をも明るい笑い話にしてしまうお二人を前にすると、その明るさにこそご夫婦の強さと仲の良さの秘訣があるように感じられます。

これからの人生もぜひ楽しんでいただきたい、そんな素敵なお夫婦です。

それ行け！ミニ広報マン

ちびっこレポート

山内小学校（山内）
山内名物「いものこ」の
収穫となべっこ会

私たちが住んでいる山内地域は、いものこで有名です。それは、とてもやわらかく、ねばりがあるおいしいからです。

9月に鶴ヶ池公園で行われる「いものこまつり」には、このいものこを目当てにたくさんのお客さんがやって来ます。

私たちの学校では、この地域の特産物を自分たちで育ててみよう、と、昨年「いものこ植え」に挑戦しています。そして、今年も6月初めに植えたいものこの収穫を迎えることができました。収穫当日は、地域の「いものこ名人」の方々に、収穫の仕方や子いものと孫いもの見分け方などを教わりながら、楽しく収穫することができました。

そして、先日このいものこを使って「なべっこ会」を行いました。のなかよし班で計画を立てて作りました。みそとしょう油をブレンドした味付けなど、それぞれの班が工夫をこらしたなべを作り、当日招待したおじいさんとおばあさんたちにとても喜んでもらうことができて、楽しいなべっこになりました。



なかよし班で、おいしいなべっこ作りに取り組みました



なかよし班で、おいしいなべっこ作りに取り組みました

サークル紹介

わがいだ
車輪

社交ダンスサークル(大森)

大森町スポーツ
ダンスクラブ

大森町スポーツダンスクラブは、社交ダンスを通じた健康作りを目的に平成8年に結成。現在の会員は15人で、毎週水曜日に大森コミュニティセンターで練習をしています。

社交ダンスは、姿勢を良く保つために普段使うことの少ない筋肉を使うため、見た目よりも意外と激しいスポーツ。「最近は映画やテレビの影響のせいか、何かと話題になりやすいんですよ」と嬉しそうな参加者の声も聞こえてきました。

同じダンスサークルとの交流も盛んで、地域の特産を生かしたパーティを主催して招待するのも楽しみの

一つとのこと。クラブでは、大森ワインと食も兼ねたダンスパーティを開催し、大変好評を得ているそうです。

社交ダンスに興味をお持ちの方、ぜひ一度見に来てみませんか。

◆問合せ 中安 則光さん

☎ 2613209

今年10月に開催された「増田りんごまつり」のコンテストで、「第41回ミスりんご」に選ばれた美穂さん。普段は市内のスーパ―店内の「パン工場」で、パン作りの修行を積んでいます。

☆自分の性格は？

大らかな性格と言われます。

☆趣味は？

お菓子作り。コンテストで頂いたりんごで、昨日はアップルパイを作ってみましたよ！

☆好きな男性のタイプは？

優しく、周りへの気遣いのできる人。

ミスりんごとして、増田のりんごの良さを
 たくさんの方にお伝えしていきたいですね。

恥ずかしそうに頬を赤く染めながら話をしてくれた美穂さん。その姿と爽やかな笑顔が、「ミスりんご」にぴったりの素敵な女性です。



高橋 美穂さん（増田）
（22歳・A型・天秤座）



えがおの 交差点

情報

お知らせのページ

お知らせ



住宅用火災警報器の悪質訪問販売にご注意ください

今年9月、市内で住宅用火災警報器設置の義務化に便乗した悪質な訪問販売の被害がありました。県内においても、複数の被害が報告されています。

火災警報器の不適正な価格や無理強い販売などを行う業者にご注意ください。

【事例】

一人暮らしの80代女性宅に、「役場のほうから頼まれて来た」と言い、男性2人が訪問。「回覧板でまわしたが、火災警報器

後三年の合戦(役)920年特別講演会

秋田公立美術工芸短期大学の石川好孝学長を講師に迎え、後三年の合戦(役)と平泉文化遺産との係わりについての講演会を行います。市内に残る史跡を市の財産として、観光にどう生かしたらよいか考えてみませんか。

■日時 11月16日(木)午後6時30分～8時

■場所 横手セントラルホテル

■問合せ 市産業経済部観光物産課(増田庁舎内) ☎45-5519

横手清陵学院PTA講演会

ABS秋田放送のアナウンサ

募集

市立横手病院職員募集のお知らせ



【看護師】

■採用人数 5人程度
■応募資格
・昭和52年4月2日以降生まれの方
・通勤に支障のない範囲に居住できる方
・看護師の免許を有する人、または平成19年3月までに実施される同国家試験により免許取得見込みの方

【薬剤師】

■採用人数 2人
■応募資格
・昭和27年4月2日以降生まれの方
・通勤に支障のない範囲に居住できる方
・薬剤師の免許を有する方、または平成19年3月までに実施される同国家試験により免許取得見込みの方

■採用年月日 平成19年4月1日(予定)
■試験日 12月2日(土)・3日(日)
■試験場所 市立横手病院4階会議室
■受付期間 11月17日(金)まで(必着)
■申込み ☎013-8602 横手市根岸町5-31 市立横手病院総務課 ☎32-5001

催し



雄物川資料館「木村榮治展」

雄物川出身の洋画家、木村榮治の絵画展を開催します。

■期間 10月21日(土)～11月19日(日) ※毎週月曜日、休館日
■時間 午前9時～午後5時30分
■入館料 大人100円、小・中学生は無料
■問合せ 雄物川郷土資料館 ☎22-2793

ぐるっと横手市「日観光

新市誕生一周年を記念し、市内8地域の観光施設や名所などを一日かけて観光します。

■日時 11月14日(火)・27日(月) 午前8時45分、秋田ふるさと村に集合

■コース 秋田ふるさと村→山内(筏の大杉)→増田(まんが美術館)→十文字(十字館)→平鹿(あやめ公園)→雄物川(木戸五郎兵衛村)→大森(仁真園)→大雄(重福寺)※予定

■参加料 800円(弁当代)
■定員 両日とも先着40人
■申込先 市産業経済部観光物産課 ☎45-5519

■申込先 大雄子育て支援センター ☎56-5061 ☎56-5062

小学生の税に関する習字展

市内の生徒による、税に関する習字作品を展示します。

■期間 11月14日(火)～19日(日)
■場所 横手サテイ1階
■問合せ 横手税務署総務課 ☎32-6090

女性センター「Yパルまつり」

女性センターを利用している自主サークル「Yパル利用団体連絡協議会」の皆さんが、日頃の活動の成果を発表します。各種芸能発表や作品展示、バザーなどの催しをお楽しみください。

■日時 11月10日(金)・11日(土) 午前10時～午後3時
■場所 市女性センター(横手市本町3-30)
■問合せ 市女性センター ☎3-3995

募集



「ふれ愛パーティー」女性参加者大募集中!

「晩秋の角館」見学とわらび



スタンプラリー・川柳イベント

締切:2007年1月31日(水)

横手公共温泉スタンプラリー

ラリーポイント10個を完走したハガキがたくさん届いています。途中でやめている方、これから頑張ってみたい方、どしどしご応募ください。

特賞 1年間、市内の公共温泉フリーパスを10名様に。さらに、その中から抽選で1名様に「金の桶」をプレゼント

1等 地酒2本セット(10名様) 2等 大沢葡萄ジュース2本セット(15名様)
3等 横手弁てぬぐい(80名様)

横手公共温泉宿泊川柳イベント

1等 横手公共温泉宿泊ときりたんぼ鍋夕食をご招待(1組)
2等 秋田こまち1俵(3名様) 3等 横手酒蔵の日本酒(6名様)
この他、特別賞や様々な特典も当たります

スタンプラリー・川柳イベントへの参加用紙・パンフレットは、各地域局窓口及び市内公共温泉、公共施設等に用意しています。詳しくは、市産業経済部観光物産課(増田庁舎内、☎45-5519)まで。

郷土の史跡・文化財探訪

市内8地域の名所を探訪し、地域の歴史に触れてみませんか。

【増田地区】
■日時 11月21日(火)午後1時30分(10分前まで増田ふれあいプラザ前に集合)
■コース 増田城跡、蔵しっくロード、蔵見学など(定員25人)
■申込期限 11月10日(金)
■申込先 増田生涯学習センター ☎45-5556

【雄物川地区】
■日時 11月7日(火)午前10時(10分前まで雄物川北小学校

前に集合

■コース 沼館城跡、沼館八幡神社など(定員30人)
■申込期限 11月6日(月)
■申込先 雄物川生涯学習センター ☎22-5535

【大雄地区】
■日時 11月11日(土)午後1時30分(10分前まで大雄庁舎前に集合)
■コース 戊辰戦争の際の耳取合戦跡など(定員25人)
■申込期限 11月8日(水)
■申込先 大雄公民館 ☎52-2522

■問合せ 市教育委員会文化財保護課 ☎24-3480

第1回 読書に関する作品コンクール

■募集部門
①読書感想文
②エッセー(素敵な本との出会いなど)・書評
③読書に関する標語・ポスター
④読書感想画

■募集期限 11月30日(木)消印有効
■申込先 中央図書館(雄物川図書館内) ☎22-2300、または各市立図書館まで



おしえてください! あなたが出会ったすてきな本を

10月27日(金)から11月9日(木)までは全国読書週間です。読書の秋にちなみ、市立図書館では本にまつわる作品を募集しています。この秋に出会ったすてきな本を、ぜひご紹介ください。

■対象 市内に在住、在学、在勤されている方

第4回
横手市増田 【増田地域センター主催】 入場無料

「民俗芸能フェスティバル」



増田地域には古くから続く民俗芸能が存在しますが、近年後継者不足等により、その存続が危ぶまれています。地域の各民俗芸能保存会では、芸能の保存・継承のため、後継者育成に努めています。このたびその成果を披露する「民俗芸能フェスティバル」を開催することになりました。

普段目にすることが難しい県内の民俗芸能保存会の協力も得て10団体が出演しますので、ぜひご来場ください。

ナンの館 月例市民将棋大会

期 間●11月12日(日)午前10時から
場 所●軽食喫茶「ナンの館」
会 費●1,000円(昼食付き)
問合せ●佐藤さん ☎090-3365-2720

映画「待合室」上映のお知らせ

富司純子・寺島しのぶによる、親子共演の話題作。実在する「命のノート」から生まれた感動の物語をお楽しみください。
日 時●11月15日(水)①14:00 ②16:30 ③19:00
16日(木)①10:00 ②12:30 ③15:00
場 所●かまくら館ホール
問合せ●横手親子劇場 齊藤さん ☎32-0573

自然を愛する皆さんの集い

仙北吹奏楽団によるソロコンサートや「横手の昔っこ」をお聴きください。
日 時●11月19日(日)午後1時開演
場 所●レストラン煉瓦屋(寿町) (参加費:800円)
問合せ●レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

和紙あかり教室

和紙を使った照明作りを通して環境とエネルギーを考えます。いずれかの回をお申込みください。
日 時●①11月22日(水)午後1時30分～4時
②12月1日(金)午前9時30分～正午
場 所●東北電力横手営業所(申込は11月13日(月)まで)
申込先●総務課 石川さん ☎32-5697

いどばた
プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

期 日 11月19日(日)
時 間 開場:午前11時 開演:午前11時30分～午後5時
場 所 増田ふれあいプラザ・コンベンションホール
出演団体 櫻林御鷹太鼓、八木番楽保存会、金沢ささら舞保存会、秋田万歳保存会、戸波郷土芸能保存会、深井鹿島送り伝承会、一日市郷土芸術研究会、仁井田番楽保存会、福嶋サイサイ囃子保存会、増田盆おどり保存会
問 合 せ 増田地域センター(増田ふれあいプラザ内) ☎45-5556

カントリーマーケットよこて

パッチワークやカントリー雑貨、ビーズアクセサリーなど、手作りの作品を展示販売します。
日 時●11月4日(土)午前11時～午後3時
場 所●かまくら館5階
問合せ●石井さん ☎080-1215-8181

つかえる英語講座

アメリカ人の先生による講座です。あいさつからビジネスに使える英語まで学びます。
日 時●11月7日(火)・21日(火)午後7時～9時
場 所●かまくら館
問合せ●若林さん ☎33-0077

「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展

新市誕生一周年を記念し、市内小中学生による「町のたからもの」をテーマにした絵画展です。
日 時●11月11日(土)・12日(日)午前10時～午後4時
場 所●かまくら館1階ロビー
問合せ●横手ユネスコ協会 ☎32-9683

横手マンドリンクラブ定期演奏会

「宵待草」や「オペラ座の怪人」など、数曲を演奏します。マンドリンの優しい音色に耳を傾けてみませんか。
日 時●11月12日(日)午後2時開演
場 所●横手市民会館(入場料:500円)
問合せ●横手マンドリンクラブ 皆川さん ☎32-9438

県営住宅の入居者募集

県営住宅の入居者募集中です。
■募集住宅 県営朝日が丘住宅
(横手市朝日が丘3丁目13番地)
■募集戸数 1戸
■募集期限 11月10日(金)
■問合せ 県平鹿地域振興局 建築課 ☎32-6206

講習講座

いきいきパワフル教室
第8期生募集

高齢者用の筋力トレーニング機器を使って、参加者の年齢や体力に合わせて運動します。
■期間 平成18年12月5日(火)～平成19年3月16日(金)までの週2回(火曜と金曜)
■時間 午後1時15分～3時15分
■場所 南部シルバーエリア
■対象 65歳以上80歳未満の市民(送迎はありませんので、直接通える方)
■申込期限 11月20日(月)
■申込先 大森地域局福祉保健課 ☎26-4030

南部シルバーエリア
「活き活き学園」料理教室

白身魚を使った料理やサラダ

作りに挑戦します。

■日時 11月15日(水)午前10時
■講師 吉田美千代さん
■申込期限 11月8日(水)
■問合せ 南部シルバーエリア ☎26-3880
■農業簡易計算廃止に伴う収支計算説明会
平成19年分からは、すべての農家の方に収支計算で確定申告していただくことになりました。そのための計算方法について説明会を開催します。
■日時 11月10日(金)午後1時30分～4時
■場所 J A秋田ふるさと営農経済部分室(旧八沢木支店)
■問合せ 横手税務署 ☎32-6090、またはJ A秋田ふるさと農協 ☎56-4105

複式簿記イータックス
講習会

自宅のパソコンで確定申告書の提出ができて便利です。この機会に電子申告を覚えてみましょう。
■日時 11月17日(金)午前9時30分～正午
■場所 横手市民会館2階
■持ち物 筆記用具
■問合せ 横手青色申告会 ☎32-8452

相談



調停無料相談会

交通事故や家庭内暴力、借金など、様々な心配事について裁判所調停委員が相談にお答えします。関係書類がありましたらご持参ください。
■日時 11月16日(木)・12月7日(木)午前10時～午後3時
■場所 秋田地方・家庭裁判所横手支部
■問合せ 横手調停協会 ☎32-4130

横手警察署からのお知らせ

Yokote Police Station Information

児童虐待から子どもを守りましょう

身体的虐待
例えば、打撲傷、骨折、たばこによる火傷の傷害を生じさせること。
性的虐待
例えば、児童への淫行、性的行為の強要、性器や性交を見せること、児童ポルノの被写体になること。
心理的虐待
例えば、言葉による脅かし、児童を無視したり拒否的な態度を示すこと、児童の心を傷つけるような言動や他の兄弟とは著しく差別的な取り扱いをすること。
児童虐待ってどんなこと?
怠慢または拒否(ネグレクト)
乳幼児を残したままたびたび外出すること、乳幼児を車の中に放置すること。適切な食事を与えないこと、下着を長期間ひどく不潔なままにすること。



児童虐待かなと思ったら

児童虐待の防止等に関する法律では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は速やかに児童相談所に通告しなければならないことになっています。また、警察の少年係でも児童虐待に関する相談を受け付けています。



※少年相談は横手警察署少年サポートセンター(☎322250)

大森山動物園の園長、小松守さんの講演があります。親子のきずなについて、今、何が必要なのか考えてみませんか。

●市民公開研修会

■日 時 11月14日(火)午後3時開演
■場 所 横手セントラルホテル
■問合せ (社)横手法人会(横手商工会議所内) ☎35-7766

●子育て支援セミナー

■日 時 11月19日(日)午後1時～3時30分
■場 所 平鹿生涯学習センター(浅舞公民館)
■申込先 県平鹿地域振興局 児童・障害者班 ☎32-3294



笑顔がいっぱい

ぶら

横手 VOL.13

「平鹿」ときめき交流センター「ゆっふる」

県内でも有数のリンゴ生産地として知られる平鹿地域。そのシンボルでもある金峰山の麓に、ときめき交流センター「ゆっふる」があります。

「ゆっふる」は、平成7年にオープン。緑とリンゴ園に囲まれ、遠く鳥海山を望む天然温泉施設として、年間約12万人もの来館者が訪れています。今年8月には、オープンからの来館者が160万人を超えるなど、多くの人々に親しまれている施設です。ゆっふるを訪れてまず驚かされるのが、巨大なリンゴのミニチュメントである貯湯槽。高さは7・5メートルあ

り、施設の象徴として、その存在感を示しています。また、浴室に備えてあるボディソープやシャンプーなどもリンゴエキスを配合されたものを使用しており、美肌効果があるとして来館者に大好評。さらに、12月と1月の日曜・祝祭日及び正月の三が日には、約300個のりんごが浴槽に浮かぶ「りんご風呂」も実施されるなど、まさに「リンゴの地・平鹿」ならではのリンゴづくしの施設です。11月に入り、ふじの収穫も最盛期。リンゴの甘い香りを感じながら、温泉でゆっくり過ごすのもいいですね。



金峰山の麓、緑豊かな自然にたたずむ「ゆっふる」



眺望と浴槽の大きさが自慢の大浴場



約300個のりんごが浮かぶ「りんご風呂」



リンゴをモチーフにした貯湯槽

ときめき交流センター「ゆっふる」

- 営業時間 午前6時～午後9時(3月～12月)
午前7時～午後9時(1月・2月)
- 休館日 毎月第3水曜日
- 所在地 横手市平鹿町醍醐字沢口166
- 問合せ ときめき交流センター「ゆっふる」
☎25-3801

